



1958年12月1日創立 国際ロータリー 第2730地区

鹿児島南ロータリークラブ

2016-2017年度 国際ロータリーテーマ 「人類に奉仕するロータリー」
2016-2017年度 クラブテーマ 「育もう!世界の子供たちの夢」

姉妹クラブ: 台湾高雄東 RC 友好クラブ: フィンランド ロバニエミ・サンタクス RC ドイツ カールシュタット・アインシュタイン RC ● 宮城県多賀市 多賀城 RC
会長: 上川 咲男 会長エレクト: 上菌 真歩 会長ノミニー: 内田修友 幹事: 柳元 尚喜

2016-2017年度 RI会長 ジョン・ジャーム
2016-2017年度 第2730地区ガバナー 大重勝弘(指宿RC)
市内分区分ガバナー補佐 古木圭介(鹿児島西RC) 興津立夫(鹿児島東南RC)

週報

Vol.59 No.4

平成 28年 (2016年)

7月27日

【事務所】
〒890-0062 鹿児島市与次郎1丁目8-10
TEL:099(254)1117 FAX:099(254)1119
E-mail:south-rc@po.minc.ne.jp
【例会日】毎週水曜日 12:30~13:30
【例会場】サンロイヤルホテル

【第2808回例会】納涼家族会

28年7月20日 第2807回例会

[点鐘] [握手タイム]
[ロータリーソング] 奉仕の理想
[お食事] 米山ランチ

★ 会長挨拶

今年度の予算理事会での承認を会員の皆様にご理解いただき感謝しております。本当にありがとうございます。色々なイベント粛々と進めたいと思います。

クラブ協議会を3回に分けて行い、各部門長、委員長の活動方針をよくご理解頂けたことと思います。素晴らしい内容で心強く思いました。

長期ビジョンについて

3年後の内田会長年度で60周年を迎えます。上川年度ホップ、上菌年度ステップ、内田年度ジャンプと考え、すでに3年後の理想的なクラブと60周年記念行事の為のミーティングを開始しています。会員数については上川年度45名、上菌年度50名、内田年度55名を目標にし、クラブ会員数を55名限定としたいと思います。クラブのステータスとお互いの会員の目的意識と融和が図れ、入会希望者が増えると考えからです。

それぞれのイベントは部門長を中心にプロジェクトチームを作り、会員が一丸となって取り組んでいただき、同じ方向を向くわくわくドキドキとし「ときめきのある」クラブにしたいと思います。会員の皆様のご理解、サポートどうぞよろしくお願い致します。

☀ 会務報告

- ①細則をお配りしています。8月3日の例会で細則改正案の決を採りますのでよろしくお願い致します。
- ②27日の納涼家族会の出欠もお願いします。

😊 スマイル報告

- 上川 咲男 君 クラブ細則「たたき台作成」、日高会員には大変な時間、エネルギーが必要だったと思い、感謝しスマイルします。ありがとうございました。
- 福岡 一信 君 上菌会員の心に残る素晴らしい還暦コンサート、ありがとうございました。残念ながら、自分の還暦の頃、何をしていたのか、想い出せません。
- 上菌 真歩 君 先日の私共夫婦の還暦祝いに際しまして、多くの皆様にご出席を賜り、また心温まるご祝辞も頂き、思い出に残るディナーコンサートができましたこ

とに、妻とともに感謝申し上げます。皆様の励ましを糧に、今後とも二人で精進して参りますので、ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

小計 14,000円 累計 67,000円

出席会議報告

RID2730 広報・公共イメージ部門
クラブ委員長会議 報告
クラブ週報・広報委員長 松窪寛

7月16日13時~ 都城市のメインホテルで開催。出席は鹿児島南地区22クラブ、宮崎分区分15クラブの代表と9クラブの地区役員。

- ① RIZ3 ロータリー戦略セミナーでの「近畿ブロックの横山守雄 PDG」が説明した戦略計画について尾形栄部門長が報告=以下は PSG の説明の概要。広報・公共イメージ向上のための課題はロータリー活動の情報がクラブ間、ゾーン内で共有されていない。一般への広報がレアケースであり、無為無策により、機会を失っている。各クラブは「Club Central」に必須事項を掲載し、四半期ごとに内容を更新する。各地区でプレスリリースできる仕組みを構築する。各クラブが実施した奉仕プロジェクトを「クラウドBOX」に投稿する。「My Rotary」への登録者を増やす=以上を対策とする。さらに、RI 会長が掲げる年度活動として、ロータリー財団 100 周年の記念イベントの各クラブ開催、奉仕プロジェクトの地元メディアによる広報、少なくとも1回のクラブイベントへの地元メディアの招待、「Club Central」への活動のUPを紹介した。
- ② WEB・IT について安達龍大副部門長説明=フェイスブックを利用した地区公共イメージ部門、あるいは個人による情報発信の紹介。
- ③ メディアを活用した活動について川内 RC の吉満祐市委員説明=薩摩川内市のコミュニティ FM を活用した薩摩川内市の PTA と共同事業を紹介。市内の小中高 52 校の子供たちの作文とインタビューを毎年10月から5月に5分間番組として放送。制作費は10万円。
- ④ ロータリーの友、月信への情報提供依頼。

